

4組合合同会議議事録

日時	2021年7月7日(水) 18:30~20:00	場所	遠隔 (Zoom使用)
参加者	大阪医科薬科大学教員・医師組合 吉田秀司 大阪医科薬科大学労働組合 大上和宏、鹿野司 大阪医科薬科大学薬学部教職員組合 佐久間覚、角山香織、加藤隆児、前原都有子、友尾幸司 大阪医科薬科大学阿武山キャンパス職員組合 讃木真理子、塚田ひろみ、齋藤貴博		
議題	1. 各組合の活動について 2. 協力事案について 3. 本会議の今後について		

内容

1. 各組合の活動について

各組合の組合員数などの規模、法人との交渉の回数や時期、昨年度の交渉内容などの概略が説明された。

大阪医科薬科大学教員・医師組合は約140名(組織率約25%)が加入しており、団体交渉は年1回(11月)実施、また原則として月1回の労使協議会を法人事務局と行っている。

大阪医科薬科大学労働組合は組合員数約60名が加入しており(組織率約8%(技術職員、技能職員、事務職員、労務職員の合計約800名中 *医師、教員、看護師を除く))、10月に定期大会を行い、役員選出を行っている。団体交渉は、年3回実施。法人側出席者は、事務局長、事務局次長、人事課部長、人事課課長、人事管理課課長、財務部部长等の事務方である。(理事長を含め、門田事務局長以外の理事は出席せず。)

大阪医科薬科大学薬学部教職員組合は79名(組織率約88%)、評議員、役職をもつ教授を除き加入制限はない。定例総会は例年2回(通常5月、12月)実施している。団体交渉は定例総会後に加えて、法人側あるいは組合側からの申し出により適宜実施している。組合側代表は委員長他数名、法人代表は辻坊常務理事、秋月事務局次長、垣貫総務課長、他総務課員1名が参加している。

大阪医科薬科大学阿武山キャンパス職員組合は23名(組織率85%)となっており、現時点では大阪薬科大学時に採用された正職員を対象としている。課長等管理職は加入対象ではない。定期総会は、これまで期末手当、入試手当前の年3回(通常5月、11月、2月)実施していたが、事務職員は、新人事制度から入試手当が削除されたことから、年2回となる。団体交渉は通常定期総会后、実施している。

2. 協力事案について

情報交換を行い、手当や賞与、福利厚生等の共通の事案について協議し、法人に対して4組合合同での要求を検討する。

3. 本会議の今後について

3か月に1回程度の実施を予定する。次回は10月中旬までに企画する。

4. その他

- ・必要に応じてメール等で連絡を取り合う。
- ・薬学部側が事業所として労使協定書や意見書を提出する際、過半数代表者が承認しているのかを確認する。
→ 本部キャンパス側では職員部門代表者会議の代表が過半数代表となるように選挙を実施し、この者が承認印を押印している。昨年度の薬大側の意見書提出は教職員組合の執行委員長が提出していた。

以上